

# 二〇一四年夏 激励文

今年も激情の幕がきって落とされる。

そびえ立つ入道雲と炎熱の日差しを浴びながら、

今日まで蓄積してきたマグマをこの舞台で晴れがましく思う存分はき出すがいい。

胸に輝く検見川のエンブレムを球場いっばいに躍動させる君たちの雄姿が

今にも眼前に浮かんでくる様だ。

観客を興奮の坩堝へいざない、我々の心に永遠に残るヒーローを焼きつけてくれ。

緊張と戦慄を感じ取れ。

健気さと懸命さを忘れるな。

ボールだけを見ろ。

その瞬間、予想を超えた己も知らない未知の力を覚える苦だ。

二〇一四年夏。

勝利に邁進しひとつの青春に堂々と名を残せ。

いつか自身の存在の大きさを知り、誇りに思える日がきくと来るだろう。

君たちの健闘を祈る。

二〇一四年六月吉日

検見川高校野球部 OB 会会長

三枝 優量